

B. subtilis由来のオキサレートオキシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1642

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

酵素学において、オキサレートオキシダーゼ (EC 1.2.3.4) は、次の化学反応を触媒する酵素です: オキサレート + O₂ + 2 H⁺ \leftrightarrow 2 CO₂ + H₂O₂。この酵素の3つの基質はオキサレート、O₂、およびH⁺であり、2つの生成物はCO₂とH₂O₂です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にドナーのアルデヒドまたはオキソ基に作用し、酸素をアクセプターとするものです。この酵素クラスの系統名はオキサレート: 酸素酸化還元酵素です。この酵素はグリオキシレートおよびジカルボン酸代謝に関与しています。2つの補因子を持ちます: FADおよびマンガン。

別名

OxO; OxOx; OxO_r; エアロオキサロデヒドロゲナーゼ; シュウ酸オキシダーゼ

製品情報

種

B. subtilis

由来

E. coli

形態

フリーズドライ

EC番号

EC 1.2.3.4

分子量

43.6 kDa, His-tagged

活性

> 230 mU/mg

単位定義

pH 4.5および25°Cで、1μmoleのオキサレートをCO₂およびH₂O₂に変換するのを触媒する酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング*

再構成

無菌水で2 mg/mLに再構成し、-80°Cでアリコートして保存し、再構成後6ヶ月以内に使用してください。繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください。

保管・発送情報

保存方法

-20°Cで保管してください。

安定性

供給された状態で少なくとも2年間安定しています。